科目名	事前事後指導	担当教員	正平　辰男 下村　久美子	学年	期別	形態	必選	単位数
				2	通年	演習	選択	1

【授業の目的及び到達目標】

栄養教育実習の意義や目的について理解するとともに、実習を円滑効果的に行うために必要な知識・技能・態度を習得することにより教育実習生としての自覚を高める。また、食に関する指導の実践に積極的に参画できるようになる。実習後は実習の反省、問題点の整理、今後の課題を明確化する。

【授業内容】

事前指導では栄養教育実習の意義・目的や心構えなどを理解し、栄養教育指導案の作成、評価の観点・方法、模擬授業など実習に向けての事前学習・準備を行う。事後指導では、実習内容について理解を深めるために教育実習体験発表会を行う。

【授業計画】

1	事前指導１　教育実習の意義	9	事前指導９　指導案の作成①
2	事前指導２　教育実習の目的、心構え	１０	事前指導10　指導案の作成②
3	事前指導３　学習指導案とは	１１	事前指導11　模擬授業の実施及び相互批評①
4	事前指導４　板書計画	１２	事前指導12　模擬授業の実施及び相互批評②
5	事前指導５　板書と発問	１３	事後指導１　教育実習の反省、問題点の整理など
6	事前指導６　模擬授業①	１４	事後指導２　教育実習レポートの作成
7	事前指導７　模擬授業②	１５	事後指導３　教育実習体験発表会
8	事前指導８　教材研究	１６	

【関連科目】

「教育原理」「学校栄養指導論」

【受講心得】

履修中は、質疑応答に積極的に参加すること。

【成績評価の方法】

受講態度(10%)及び出席状況(10%)、発表内容(40%)、報告レポート（40%）などを総合的に判断して決定する。

【教科書】

適宜資料を配布する。

【参考書】

『栄養教育実習ノート』　笠原賀子他著　医歯薬出版
『栄養教諭養成における実習の手引き』　田中信監修・著者　東山書房

【オフィスアワー】

後期　火曜日昼休み及び5時限

【備考】

栄養教諭課程必修
教育実習の日程に応じて授業の内容や順番を変更することがある。

科目名	教育方法論	担当教員	平嶋一臣	学年	期別	形態	必選	単位数
				2	前期	講義	選択	1

【授業の目的及び到達目標】

教育の目的を達成するための方法や技術を、具体的な実践の場面を想定し習得する。また、枠組みにとらわれない自由な発想を培う教育方法の理解を目的とする。

【授業内容】

「要領」の理解を行うとともに、今求められる教師の専門性とは何かを考える。また、実践に活かすことができる技術・知識について基本的なことから学習する。

【授業計画】

1	オリエンテーション・教育方法の意義と概念
2	「要領」から実践へ（1）
3	「要領」から実践へ（2）
4	方法としての様々な教育形態（1）
5	方法としての様々な教育形態（2）
6	専門職としての教師（1）
7	専門職としての教師（2）・まとめ
8	試験

【関連科目】

「教育原理」

【受講心得】

出席状況と受講態度を重視する。欠席した場合は、必ず課題レポートを提出するものとする。

【成績評価の方法】

出席（20%），受講態度（20%），発表（20%），レポート（20%），試験（20%）で総合的に判断し評価する。

【教科書】

必要に応じて、授業中に紹介する。

【参考書】

必要に応じて、授業中に紹介する。

【オフィスアワー】

【備考】

栄養教諭課程必修・小学校教諭課程必修・幼稚園教諭課程必修

科目名	教育相談	担当教員	正平　辰男	学年	期別	形態	必選	単位数
				2	前期	講義	選択	1

【授業の目的及び到達目標】

児童生徒の心の問題や学校生活への適応にかかわる援助活動、さらには、学校における教師と児童生徒との人間関係の深化を促進するために、教育相談に関する基本的な事柄を学ぶことを目的とする。

【授業内容】

教育相談とカウンセリングの関係について理解を深め、学級経営、児童生徒の問題事例などに取り組む際の教育相談の必要性・重要性について学ぶ。また、保護者への援助や地域諸機関との連携を図るにあたって教育相談の重要性を認識し、教師・学校に求められる姿勢や方法について学ぶ。

【授業計画】

1	教育相談の意義と目的
2	教育相談で扱われる問題と教師の役割
3	教育相談の理論と担当者の基本的態度
4	子ども理解の基礎知識
5	事例研究とは何か
6	問題行動とは、不登校、いじめ
7	少年非行、児童虐待
8	栄養カウンセリング
9	

【関連科目】

「教育原理」「特別活動」「生徒指導論」

【受講心得】

自らの学校生活を振り返って、どんな悩みを抱いていたかを講義内容を照らし合わせて考察を深めると理解が深まる。

【成績評価の方法】

試験（50%）、出席状況、課題提出などを含めた受講態度（50%）。

【教科書】

教師のための教育相談の基礎　久芳美恵子著　三省堂

【参考書】

講義中に適宜指示する。

【オフィスアワー】

随時質問は受け付けます。

【備考】

栄養教諭課程必修

科目名	教職実践演習 （栄養教諭）	担当教員	正平　辰男 渡部　　明	学年	期別	形態	必選	単位数
				2	後期	演習	選択	2

【授業の目的及び到達目標】

栄養教育の実践力をつけるために、教職課程の仕上げとして、専門性のさらなる向上と合わせて、学生自身が自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、反省する力を涵養することを目標とする。

【授業内容】

教育実習と連動して、教育活動の分析を行い、現場の栄養教諭と交流を図りながら、多様な研修を行い、食に関する指導についての理解をより深めるための実践活動あるいは研究授業を通して、栄養教諭として必要な知識技能を修得したことを多角的に確認あるいは検証をしていく。

【授業計画】

1	教育活動の分析（1）	9	学校現場の調査・見学（1）
2	教育活動の分析（2）	１０	学校現場の調査・見学（2）
3	教育活動の分析（3）	１１	研究授業（1）
4	教育活動の分析（4）	１２	研究授業（2）
5	実践事例研究（1）	１３	研究授業（3）
6	〃	１４	研究授業（4）
7	実践事例研究（2）	１５	資質能力の総括的確認
8	〃	１６	

【関連科目】

「教育実習」

【受講心得】

遅刻・欠席をしないこと。

【成績評価の方法】

研究課題のレポート（25%）、指導案（25%）、研究授業（25%）、演習への参加態度（25%）などを総合的に評価する。

【教科書】

独自教材を準備。

【参考書】

演習中に指示する。

【オフィスアワー】

【備考】

栄養教諭課程必修